

クオリティインディケータ（QI）成果報告

【耳鼻咽喉科】

指標名

嚥下障害診療の充実

目標：ゴール

超高齢社会の到来により、健康寿命の延伸には嚥下障害への対応は必要不可欠である。

内視鏡下嚥下機能評価は嚥下機能評価のゴールドスタンダードであり、当院での嚥下障害診療の質を向上させるために、年間100件以上の実施を目標とする。

目標：ゴール達成による効果

安全な食の担保による患者のQOL向上

医療安全

目標：ゴールに対する成果の状況

前年5件のところ137件まで増加した。

目標：ゴール達成度

- S : 大幅な目標を上回った
- A⁺ : 目標を多少上回って達成
- A : 目標を達成
- B⁺ : 目標を少し下回った
- B : 目標を下回った
- C : 目標を大幅に下回った
- : 外的要因より継続困難となった

目標：ゴールの課題・改善策

現在リハビリテーション科と耳鼻咽喉科で分担して評価を行っている。

受入体制のシステム化の構築により、より質の高い嚥下障害診療を提供する。